

ぼくの 仙人教師

my teacher a mountain hermit



FOR ADULT ONLY
成人向

ぼくの仙人先生

その日、
僕の前突然
現れたお姉さんは
笑顔でこう言いました

今日からあなたは
私の家で勉強を
するのよ

『これから
よろしくね』

その一言で
その日から僕は
先生の家の
子供になりました

僕の家は
両親が病気がちで
貧乏かつたから
きつと僕は口減ら
しで里子に出された
思い出したのだと

でもそのことに
特に不満は
感じませんでした

なぜなら
青娥先生は僕に
『仙人になる勉強』
ということ
今まで知らなかつた
色んな事を
教えてくれましたし

衣食住に
関しても
充分なもの
が与えられた
からです

せむかし

ええと……
あと、実は
もう一つ別な
理由もあります



先生にしてもらう
房中術の修行が
ぼくは好きなんです

※人生にみける特法

先生がして
くれることは
全部すごい
気持ちよくて

なんだか
恥ずかしい時
もあるけど
いつも楽しみ
です





あはっ
あはっ
あはっ

あはっ
あはっ
あはっ



ふふ...
いいのよ

生徒の管理は
先生のお仕事
ですからね



僕が外で催すと
先生は外でも
してくれたりします

先生
ごめんなさい...



気持ち良かったん
であお♡

あはっ
こんなに一杯
出てまあよ♡



あはっ
あはっ
あはっ

あはっ♡



飲むんたは



でいっばいね





でも最近少し
気がかりなことが
あります

出た出たっ

あはっ

ツ!

先生…
せんせい…
せんせい…



これは人体くらいなら
金鑿がなくても
簡単に穴を開けて
手を入れるから
技があるんですよー

今日は前立腺を直接
マッサージされる
感覚を知って貰うわ

一杯出たね
気持ちよかった?

でも今日はまだまだよ

あら？
痛いかしら

痛ッ…?

でもすぐに良く
してあげますよ



ふふ
魚みたい
に跳ね
ちゃって



私の能力なら
中からも刺激
出来るんですよ

外からだ
と痛い
かも知
れない
けど



はあ
はあ……

今日は
よく頑
張り
ました
ね



精液が
噴水
みたい
に出
てま
すよー♡



……先
生
ぼく
は……

……



……頑
張
っ
た
ご
褒
美
を
今
度
あ
げ
ま
す
か
ら
ね

それ
ま
で
は
自
分
で
す
る
の
も
禁
止
で
す
よ

先生は……
ぼくのことを
生徒じゃなくて
只のおもちゃだ
と思ってるん
じゃないか……

ぼくの気持ちを知ってか知らずか

あれから先生はしばらくぼくにそういうことをしなくなりました

となると自分も現金なものであの時不安がっていた気持ちも忘れて先生を見ながらもやもやする生活になりました

…だけど先生はそんなぼくを見てもずっと素知らぬ顔で接してきます



一週間後

はい

これは私が飲みます

どういう事ですか？

ご褒美なのに先生が飲むって

だからですよ

羨?

「身体が動かなくなる仙丹」がご褒美って……

…これをぼくが飲むんですか？

ううん？

えっ？

つまり『今日は私のことを好きにしている』

——と
言うことです



いつもいつつも
あなたのために
ごほうびです
ものね

だからあなたが今
一番欲しいものを
あげることにしたの

なぞ
なぞ

さっきの
晩ご飯にも
理性を取り外す
薬や催淫剤を
入れて
置いたから

そろそろ
我慢できなく
なるころだと思わ

だから
いいのよ

ふふ…

自分の事だけ
考えて

私を好きに
つかって…

今までは
私にされてばかり
だったもの

今日は自分から
覚えなきやね
するかも

さあ
どうぞ

あゝ



もつと
ゆつくりー

ちよ…
ちよつと

こんな時でもぼくを
上から見ている先生が
腹立たしかつたんだ
と思います

薬のせいなのかは
この辺りのことは
あんまり鮮明には
覚えていません



その姿を見て
ぼくは先生を急に
押し倒しました



待…

って
ちよつ
まだ早…



って…
これはもう意識
飛んじゃってるわね…



薬が
多過ぎた
かしら

普通の人間に処方する
丹の量は微量すぎて
用量が困るわ…

わお、バッキバッキ

オチッ!



それでも
ぼんやりと
覚えているのは

ちみっと…
がつつきすぎや

ぼくが無理矢理に
先生を
使ってる時の
先生の
余裕のある顔と



あっ♡

あはっ♡

それを何とかして
壊してやろうと
思ったことと……



先生に何度も何度も
射精したことです



にしてもこんな
続くなんて
ちよっと…
予想外かも…

薬…
効き過ぎたの
かしら

キュッ!!
キュッ!!
キュッ!!

アハハハ

は…
アハハハ



ガクガク

キュッ!!



もう…
この子一
何回出せば

気が済むの
かしら…



グッ

グッ

グッ

グッ

グッ







一度にこんなに
上質な感情と精を
吸えるなんて

ここ数百年
なかったことよ

…なんだこれ
…からだが
うごかない…

からだがとけて…
せんにいって…
とわかれていく…
すわられていく…

あなたは本当に…
今までにないくらい
良くできた…
私好みの子だわ

これからも…
ずっとずっと…
死ぬまで…
私のそばに…

いいえ

あれ…？
もしかしてぼく
…死ぬのかな

あなたが死んでも…
芳香の様に
生き返して
ずっと傍にさせて
あげるわ…

でもいいや…
とけて…
あったかい…



おはよう

……あら



でもあれは…



三日……

あれ？
身体…は
何ともない？
あれは途中から
夢だったのか…？

すみ
しんどい
けど



うわあっ!?

大丈夫？

三日も
目覚めないから
心配したわ



ぼくにとっては
なんだか

……ねえ
また今度も……
しましようね

ゾツとするような
笑顔に見えた



な…
なんですか？

ふふ

その時の
先生の顔は
いつも通り
綺麗だったけど

あとがき

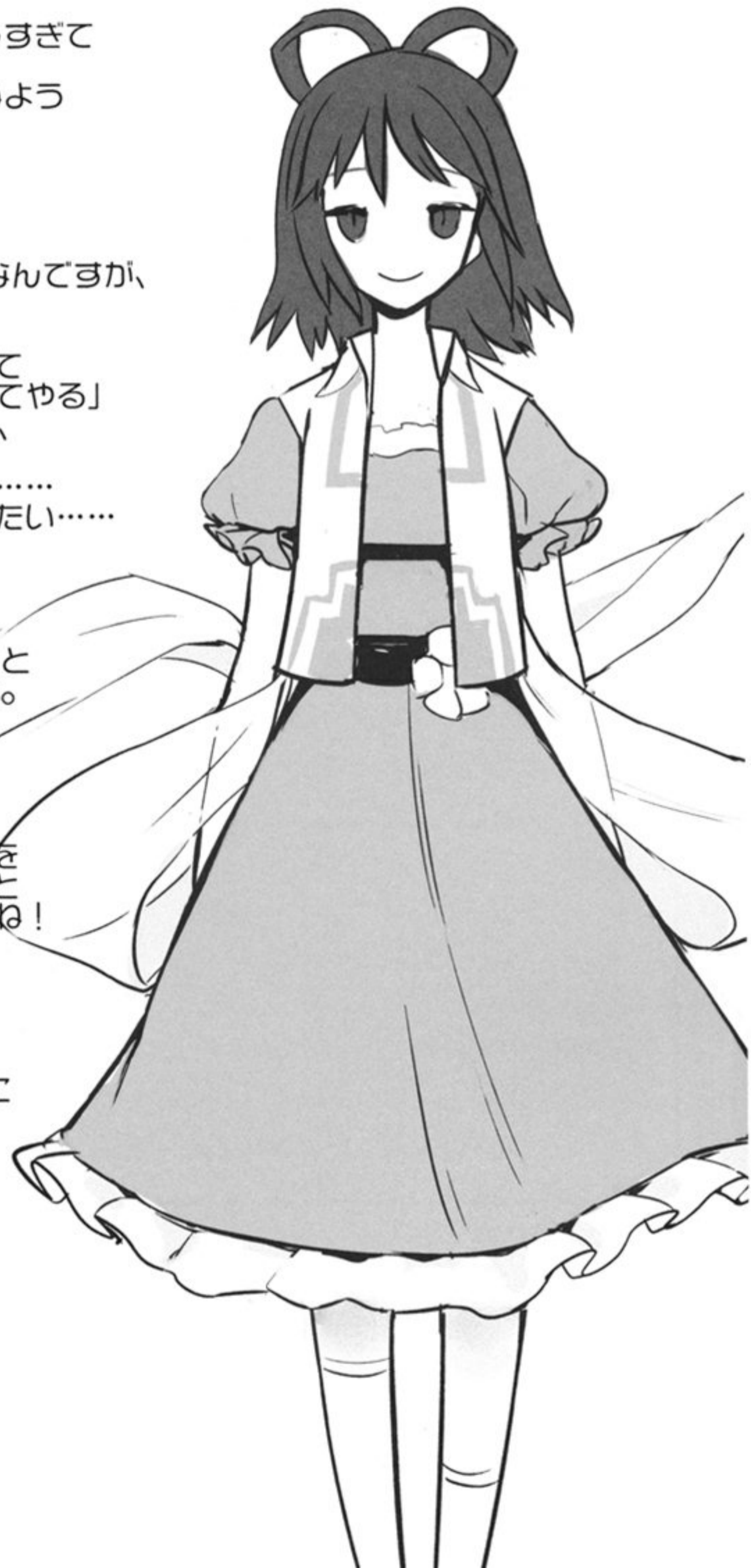
こんにちは。かめれおんです。
皆様いかがお過ごしでしょうか。
私はなんだかとってもインドアな毎日を過ごしすぎて
最近日の目を見ていない気がします。
皆様はこのような不健康な生活を送られませぬよう
お気をつけ下さい。

はい。今回は首絞めが描きたくて出した青娥本なんですが、
最初は前々回に出した「うちの仙人師匠」と
対になるような本にするつもりだったんです。
ネーム切ったらなんだか似てる構図が出たりして
「ようし、一年でどれだけ画力が成長したか見せてやる」
なんて考えていたわけです。しかしね、びっくり、
なんと前の本の方が良いなんていう……
……これは……おどろきですよ……すごく……
自分の駄目さに……青娥さんに溶かされて死にたい……

というわけで
今年一体俺は何をだらりだらりとしていたのかと
この年末に反省することしきりてございました。

さて、年末ということでの反省を生かして
新年、新しい自分を始める為に色々やることを
みつけたので、それに行いつつがんばろうと
思っています。変わらなきゃ！死んじゃうからね！

ところで最近私が気になる遊びなんですが
TRPGとガンダムオンラインをちょろちょろと
やっております。機会がございましたら一緒に
プレイできればと思います。それでは！



- 奥付
- 描いた人:かめれおん
- サークル:緑茶コンボ
- 印刷所様:サングループ様
- 連絡先 :mr.chamere@gmail.com
- 発行日 :2012/12/30

